

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	人としての尊厳を大切にし、住み慣れた地域で地域の方々とのふれあいを大切にする。ひとり1人にあった生活を活かしながら、いつまでも元気に楽しく暮らしていただけるよう心をこめてサポートしますと、木もれ日の理念として掲げている。	理念には「地域住民との交流の下で」などの言葉を含み、地域に根ざしたサービスを意識できる内容が盛り込まれている。理念を掲示するとともに、毎日の朝礼において唱和し、ミーティングにて具体的に話し合い、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体である病院が行う地域事業等の参加を実施。	今年より町内会に入会し、清掃活動や行事に参加したり回覧板の受け渡しを行っているほか、公園等へ散歩で出会う地域の方へのあいさつや声かけなどにより関係づくりに力を入れている。学校等との交流会やボランティアの受け入れを行い、日常的に交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	まだまだスタッフ自体勉強不足であり、地域の方々への理解や支援までは至っていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営状況や様々な行事報告を行ったうえで、委員の皆様から意見や提案をいただき、職員への周知に努めサービスの改善・向上に努めている。	2ヶ月に1回開催され、事業所行事等の報告のみではなく、出席者の意見や助言などがあり、有意義な会になっていることが議事録より確認できる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村への連絡・報告等や運営推進会議において市町村担当者と連携をとり関係作りに努めている。	介護相談員の受け入れを行い、頻繁に市担当窓口や福祉事務所などへ事務手続きやその他の機会に訪問し問題や事故や認定手続きなどの情報交換を行うなど、協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関するマニュアルを作成し、スタッフ全員が身体拘束ゼロに努めている。母体の病院で開催される身体拘束の勉強会にも参加している。	マニュアルを作成し研修を行い、玄関をはじめ各居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を職員の努力で実現している。職員は常に利用者の状態を把握し、外出されるときにはさりげなくついて出たり、見守りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待防止についての勉強会参加を行っている。またスタッフが利用者様への言葉使い等で好ましくない発言や言動があった場合はすぐ管理者へ報告をし注意・指導を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する勉強会参加、成年後見人制度に関する勉強会に参加している。しかしスタッフ全員への周知が不十分。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関しては十分に時間をかけ説明を行い、理解・納得を図っている。またいつでも気軽に相談していただけるような雰囲気づくりにも心がけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会等で出た意見を事業所の業務改善に活かしている。また気づいたことがあればいつでも相談にのっている。	重要事項説明書に相談窓口を記載するとともに、家族会も定期的に開くなど家族が意見や要望を表しやすい工夫と配慮をしている。職員が苦情などを把握した時には苦情処理受付簿や介護記録に内容を記載し他の職員と共有し、必要な場合は職員会議で話し合い、本人や家族に報告するなど速やかな解決を図っている	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝朝礼で職員から意見を聞く機会を設けている。みんなの前で話しにくい時はいつでも相談にのれるような雰囲気づくりに努めている。なにげないスタッフ同士の会話も大切にしている。	朝礼、研修会、ミーティング時に勤務体制など様々なことを職員で話し合う場を設けている。また管理者は悩みがありそうな職員には個別面談を行ったり、気軽に職員が声をかけられるような雰囲気づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課を実施しており、面談にて個別の目標や計画などを聞く機会を持ち、職員の人材育成やスキルアップを繋げるように努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修にも参加している。また積極的に参加できるような勤務体制を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域で開催される認知症ケアの勉強会等に参加を行い、他施設の同業者との交流を図っている。法人としても交流会等への参加を支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の際に事前訪問として、病院、施設、自宅等を訪問し、本人、家族の面談を実施し、施設への見学等を行い信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護支援専門員より利用開始時に、初期相談にて家族の要望、不安なことを確認している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護支援専門員の初期面談にて必要としている支援を見極め本人と家族のニーズに応じたサービス提供を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個別ケアを実施し、スタッフ全員が本人が出来る事を見極め、しているADL・IADLに繋げるよう支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には電話連絡や来所時にも近況を報告し、月に1回木もれ日新聞を作成し、本人・家族を大切に支援を行っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族（親戚や馴染みの人）の面会の機会の確保に努めていけるように支援する。また利用者への想いを尊重し継続的な支援に努めていく。	フェースシートや面談記録を活用し、利用者を支えてくれていた人間関係を把握するとともに、関係を継続できるよう面会、電話の支援や、墓参りや馴染みの店への買い物などの支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者間のトラブルがたまにはあるが、孤立することなくリビングでの団らんやレクリエーション等で関わり合いが出来るよう支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去となった際も病院へのお見舞いや亡くなられた時にはお通夜に参加するなど本人・家族に対しての関係性を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ本人の意向を大切に し、家族との面会や外出・外泊 等をお願いしている。	利用開始前に本人や家族、関係者から どのように暮らしたいかを聞き、アセ スメントシートなどに記載し、介護計 画に活かしている。入居後は日々のか かわりの中で本人の意向をくみ取り、 ケア会議などの場で職員間の共有をは かっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用 の経過等の把握に努めている	本人や家族からこれまでの暮ら しの状況を聞き、十分に把握した うえで、毎日の暮らし方に繋 がる事が出来るように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状 態、有する力等の現状の把握に努めてい る	個別のサービス計画書を作成 し、現在の状態を把握したう えで必要なリハビリ等も実施して いる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリン グ 本人がより良く暮らすための課題とケ アのあり方について、本人、家族、必要 な関係者と話し合い、それぞれの意見や アイデアを反映し、現状に即した介護 計画を作成している	カンファレンス、毎朝のミニカン ファレンスを行っている。スタ ッフに利用者の各担当制を取 り入れ、より細やかなケアと本 人の不安が緩和できるような体 制にしている。	本人、家族、主治医も参加した担当 者会議を開き話し合いながら計画を 作成している。また、ミーティング で介護支援専門員と職員が話し合 い、介護計画を作成することで、職 員はすべての利用者の介護計画を意 識して日常の介護を行っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人一人の個別の記録を作成し、介護計画もすぐ見れるようにし、利用者全員が自立へと支援できるように情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	いつでも外出や面会等できることを大切にし、家族の行事への参加やいろんな状況に応じて柔軟に対応できるように本人・家族に支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや地域の文化活動、警察や消防といった様々な地域資源の協働については不十分である。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体の病院（医師）と24時間いつでも連携がとれ、受診できる体制を作っている。受診の際は家族への連絡も行っている。	かかりつけ医は入居前からかかっている医療機関に本人や家族の意向を大切に決めていく。訪問治療受診時も適切な治療が受けられるように看護師訪問記録等で情報提供に努めており、良い関係がつけられている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体の病院から週に1回看護師が訪問し、利用者の健康状態を管理している。また木もれ日内に准看護師がおり訪問の看護師に状況報告・相談等を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は看護師長や主治医に情報が早期に伝達できるよう管理者または計画作成担当者が訪問し、情報交換・相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りへの同意書あり。実際は看取る段階前に入院となるケースが多く、実際ホーム内での看取りは今現在なし。	重度化や看取りに対する対応指針を定め、家族に説明し同意をもらっている。また、その後も本人や家族、かかりつけ医と相談し職員の共有も図っている。母体病院と24時間体制で連携がとられ、それが本人・家族の安心感につながっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	母体病院の研修の参加やAEDの講習会等参加を行っている。またホーム内看護師による応急処置や初期対応の指導を受けている。定期的ではないため不十分といえる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防職員の立ち会いのもと訓練を実施したが、スタッフの迅速な対応が不十分。定期的な訓練が必要。	避難訓練や消火訓練を行うとともに、マニュアルを作成し研修にも取り組んでいる。地域住民には回覧板で理解と協力を呼び掛け、相互協力して災害対策を行う体制を整えている。しかし、非常災害時に必要な備品の管理や夜間体制での訓練が確認できなかった。	非常災害の発生時に必要な食料や飲料水等の必要な備品について備えられることを提案し、今後準備に向け検討される意向である。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人の行動指針のもと人格の尊重や一人一人の尊厳を大切に、対応には十分配慮を行っている。朝の朝礼にて行動指針の唱和を行っている。	玄関に方針が掲示されている。利用者へ言葉かけは自己決定しやすいように十分に配慮して行っている。また、記録等は事務室の鍵のかかる棚に保管し外来者の目につかないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや希望を表出できるような関係を作り、意志を確認行動に移せるよう支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の会話や表情からその人がどのように過ごしたいかを見極め希望にそえるように支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時や入浴後に洋服選びや化粧など、おしゃれをしていただく環境作りを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に必要な役割（食事の味見や盛り付け、片付けなど）を利用者一人一人にあったことをしていただき生活の充実のための支援を行っている。	テレビや料理本を見ながら食事の希望や食欲を引き出す工夫をしたり、旬の食材を利用し、配膳、下膳を一緒に行うことで食への興味を持ってもらうように配慮している。食事は職員も一緒に会話を楽しみながらとられている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	一日を通じて水分・食事を チェックし十分摂取できている か把握している。足りないとき はゼリーなど提供して摂取量の 確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	毎食後入れ歯を外し口腔ケアを行っ ている。口腔状態も把握し、歯科受 診が必要な際は家族に報告し早期の 対応に努めている。夜間はポリデン トを使用し毎日洗浄も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	毎日排泄チェックを行ってい る。一人一人の排泄パターンを 把握し、声かけや誘導で利用者 全員がトイレで排泄ができるよ う支援を行っている。	排泄チェック表は作成されている が、日単位での確認で、本人の生活 リズム、排泄パターン等が把握でき る記録とは言い難い。	利用者一人ひとりの排泄パターンを 確認できるよう日単位のチェック表 ではなく、時間単位のチェック表を 活用することを提案し排泄表の見直 しを行うとの意向である。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェックを行ってい る。水分摂取や運動を促し、ト イレ誘導時には腹部のマッサージ 等も行っている。それでも出 ない場合は下剤を使用し排便の コントロールを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴に関してはその日の体調などを考慮して行っている。声かけにて本人が入りたい時間に入浴をしていただくようにしている。	体調や希望により入浴やシャワーなどの対応ができる。入浴を嫌われる方にはできるだけ声かけのタイミングや入浴剤の使用など工夫して、入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ日中の活動により覚醒を促し昼夜逆転しないよう支援を行っている。しかしその日の睡眠不足等により気分がすぐれないときは休息がとれるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員使用している服薬についての目的は理解しているが、副作用についての理解までは不十分。服薬情報は個別記録につづっておりいつでも参照できるようにしてある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者個人の生活暦の中で、趣味活動、嗜好等を日常生活の中で取り入れて気分転換に繋がるよう支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物やドライブなど本人の希望にそった支援を行っている。またや家族や馴染みの関係の方との外出などの支援も行っている。	敷地全体にウッドデッキが設置され天気の良い日は外気浴が行われている。また、本人の希望に応じて買い物、ドライブ、墓参りなど戸外に出かけられるように配慮し、気分転換やストレス発散、五感刺激の機会として外出の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ヤクルト販売員の来所時や外出の際、ホームで預かっているお金を本人に渡し使いたいときに使えるように支援を行っている。お金の使用は家族の了解を得て購入後は家族に知らせている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人が電話をしたいというときは職員がはじめ相手先につなぎ支援を行っている。手紙に関しては今のところ希望がなし。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内外の設備に関しては過ごしやすいように配慮されている。外には落葉樹もあり季節感を味わえる環境になっている。しかし現在同敷地内において建設工事が行われているため騒音に対して不快や混乱等に若干の影響あり。	広いウッドデッキはとても気持ちよく、共有空間には絵画や花が飾られ、リビングや廊下は思い思いにくつろぐことができるスペースが確保されている。リビングは日差しが差し込み明るく、心やすらぐ家庭的な雰囲気がたどよい、居心地よい空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングテーブルの利用者の座る位置に関して利用者同士や利用者とスタッフで話し合いみんなが納得いく配置になっている。一人一人が好きな時間に好きな場所でくつろげるよう共用空間の様々な場所に椅子を用意している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に自宅で使用されていたタンスや馴染みの物を持っていただけよう家族に説明を行っている。本人が着慣れた衣類やモノを持参して頂いている。	家族とも相談し一人ひとりの希望や状況に応じて仏壇、家具、タンス、椅子、冷蔵庫、テーブル、コタツ、ぬいぐるみなど馴染みのある物を持ち込み居心地のよい居室作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各トイレ、廊下、浴室、玄関にはすべて手摺が設置されており、各居室には誰でも立ち上がりやすいよう高さ調節式の電動ベッドが備えてある。浴室にはシャワーチェアはもちろん、バスボードがあり必要に応じて使用している。		

Ⅴ アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない